

事務事業チェックシート

事務事業No **1155** 事業名 **中学校国際交流助成事業**

[長期総合計画]

分野別目標	3	子供たちがいきいきと育つまち
政策	2	社会を生き抜き子供たちの学力の育成
施策	2	国内外の多様な分野で活躍できる人材を育む教育の推進
取組方針	1	国際化・情報化に対応した教育の推進

[事業基本情報]

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・ 予算区分	会計	一般会計		
	款	教育費		
	項	教育総務費		
	目	教育振興費		
	大事業	教育振興事業		
	中事業	中学校国際交流助成事業		

事業種別	継続		関連個別計画	和歌山市教育振興基本計画		
事業年度	無し	～	無し	担当課・担当課長・Tel	学校教育課	古田 清和 435-1139
事業実施の根拠法令			関連課			

1 事業内容

事業目的	(「誰・何」をどういう状態にするための事業か)		全体事業概要			
	和歌山市の中学生・高校生が、外国の生徒と交流することで、広い国際的視野を養う。		国際理解教育並びに英語教育の充実を図るため、姉妹都市にある姉妹校と親善交流を行う。			
事業内容		平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和02年度	令和03年度
		リッチモンド市から訪問団が来和し、交流を行った。	和歌山市とリッチモンド市の中・高校生が相互訪問し、学校交流やホームステイを行い、国際親善に努めた。本市の中・高校生が訪問するのは隔年である。	和歌山市とリッチモンド市の中・高校生が相互訪問し、学校交流やホームステイを行い、国際親善に努める。本市の中・高校生が訪問するのは隔年である。	和歌山市とリッチモンド市の中・高校生が相互訪問し、学校交流やホームステイを行い、国際親善に努める。本市の中・高校生が訪問するのは隔年である。	和歌山市とリッチモンド市の中・高校生が相互訪問し、学校交流やホームステイを行い、国際親善に努める。本市の中・高校生が訪問するのは隔年である。

2 事業コスト

事業費等(千円)	平成29年度		平成30年度		平成31年度		令和02年度		令和03年度	
	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算
事業費	420	338	1,728	1,928	758	480	2,180	0	2,180	0
伸び率(%)	△81.4%	△81.6%	311.4%	470.4%	△56.1%	△75.1%	187.6%	△100%	0%	0%
人件費	正規職員	2,473	2,553	2,798	2,798	2,900	2,900	2,900	0	0
	正規職員以外	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	小計	2,473	2,553	2,798	2,798	2,900	2,900	2,900	0	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
市債	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
一般財源(税等)	420	338	1,728	1,928	758	480	2,180	0	2,180	0
所要人数(人)	正規職員	0.31	0.32	0.35	0.35	0.36	0.36	0.36	0.00	0.00
	正規職員以外	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
主な予算内訳	親善交際費 758千円									

3 目標及び実績

活動指標	指標名	単位		平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和02年度	令和03年度
				目標値	実績値	達成度(%)	目標値	実績値
渡航回数		回	目標値	0	1	0	1	0
			実績値		1	0		
			達成度(%)	0%	0%	0%	%	%
渡航時参加者数		人	目標値		30	0	30	
			実績値		32	0		
			達成度(%)	0%	106.7%	0%	%	%
来和時参加者数		人	目標値	800		800		1400
			実績値	1340	0	1505		
			達成度(%)	167.5%	0%	188.1%	%	%

4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか		増加している	○	横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か		現行の手段でよい	○	一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要があるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか		できる	○	あまりできない	できない
[有効性]成果目標ほどの程度達成しているか	○	達成している (90%以上)		おおむね達成 (70~90%未満)	達成していない (70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度		重要かつ高い貢献度がある	○	一定の貢献度がある	貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない		制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し		適正	○	負担は求められない	見直しが必要

5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実				
	現状維持			○	
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	カナダ・リッチモンド市とは姉妹都市交流を40年以上重ね、学生同士の定期的な交流も定着している。受け入れの際の学校訪問は、各校とも工夫を凝らした交流プログラムを組み、意義ある活動となっていることから、継続して実施したい。
見直し・改善内容	訪問時、受け入れ時ともに参加者の満足度は非常に高い。今後もホームステイ受け入れ先の開拓やプログラムの充実に努めたい。